

報道関係各位

2015年3月5日  
株式会社アイデム

2016年3月卒業・就職予定の大学生実態調査【2月1日時点の状況】

## 学生の4割以上が就職活動解禁前に既に応募・選考に突入

～インターンシップの実施日数は46.7%が3日以内～

企業の採用活動を支援するサイト「JOBRASS新卒」を運営する株式会社アイデム(本社:新宿区新宿／代表取締役社長:梶山亮)の人と仕事研究所 <http://apj.aidem.co.jp/> では、2016年3月卒業予定で、民間企業への就職を希望している大学3年生・大学院1年生の男女637名を対象に調査を実施しました。この度、その調査結果をまとめましたので、一部抜粋してお知らせします。

## ◆ 調査結果

## 《就職活動の進捗状況》

【主な活動】「準備活動段階」62.5%、「エントリー活動段階」21.4%  
2015卒学生の採用広報活動解禁1ヵ月前よりも準備が早い傾向

【最も進みが早い企業の状況】「エントリー活動段階」25.8%、「面接・試験段階」16.4%  
4割以上の学生が応募・選考に突入

## 《働く上で大切にしたいもの》

働く上で大切なことは「働きやすさ」51.2%、「仕事の内容」40.3%、「給与の高さ」8.5%  
女性は「働きやすさ」重視で、男性とは15ポイント近い差も

## 《企業選定の志向》

企業選定時の重視項目は「会社・社員の雰囲気」「事業内容」「職種」「業界」「企業の安定性」  
女性は「育児・介護支援」を非常に重視する傾向

## 《インターンシップ》

インターンシップの実施日数は46.7%が3日以内  
インターンシップ参加企業の採用選考にエントリー・応募を「する」学生は73.0%  
インターンシップ終了後に、企業からの接触が「あった」学生は68.2%

## ◆ 調査概要

調査対象	調査方法	調査期間	有効回答
2016年3月卒業予定で、民間企業への就職を希望している大学3年生・大学院1年生の男女	インターネット調査	2015年2月1日～3日	637名

## ◆ 調査・分析担当者のコメント

アイデム人と仕事研究所 古橋 孝美

就職活動開始前の2月1日時点で、既に応募・選考活動に突入している学生もあり、やはり、採用広報解禁の3月1日よりも以前に動き始めている企業が一定数あることがうかがえます。

インターンシップに参加した学生の割合は、昨年よりも大幅に伸びました(22.7%→65.0%)。しかし、その実施日数は「3日以内」だったと回答した学生が46.7%に上り、経団連が「5日以上」の実施を推奨しているのに対し、実態は異なっているようです。また、約7割の学生がインターンシップ終了後も企業から接触があったとしており、インターンシップから採用選考に繋げようとする企業の思惑が垣間見えます。インターンシップ本来の目的である職業体験の場としての役割が薄れている印象もあり、今後、インターンシップの在り方を考える必要がありそうです。

※ 本ニュースリリースは調査全文の一部を抜粋しているため、調査全文をご希望の際は、下記広報担当へお問い合わせください、下記のウェブサイトからダウンロードください。

<http://apj.aidem.co.jp/enquete/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社アイデム 広報担当/望月・栗木 電話:03-5269-8780

## 調査結果の詳細(一部抜粋)

### 『就職活動の進捗状況』

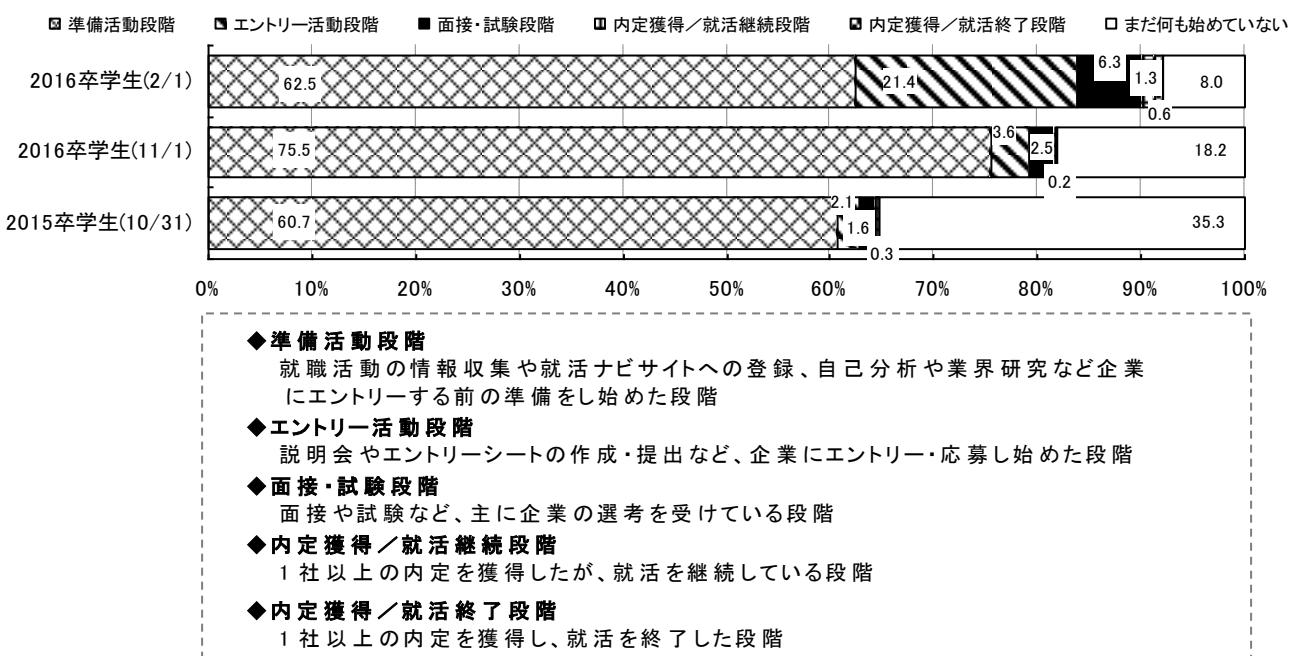
【主な活動】「準備活動段階」62.5% 「エントリー活動段階」21.4%

2015卒学生の採用広報活動解禁1カ月前よりも準備が早い傾向

学生に、2015年2月1日時点の就職活動において「現在行っている主な活動」を聞いた。「準備活動段階」と回答した学生が62.5%と最も多いが、「エントリー活動段階」に進んでいる学生も21.4%存在している。前回の11月1日調査から「まだ何も始めていない」「準備活動段階」の学生が減り、「エントリー活動段階」以降に進んだ学生の割合が若干増加した。前年の採用広報活動の解禁1カ月前の調査(「2015年3月卒業予定者の就職活動に関する調査 2013年10月末状況」と比較すると、「準備活動段階」の学生の割合はほぼ同じである。しかし、「まだ何も始めていない」学生の割合は、2015年卒学生対象調査では35.3%だったものが、2016年卒学生対象の2月1日状況調査では8.0%と大きく減少している。加えて、2016年卒学生対象の2月1日状況調査では、就職活動の解禁1カ月前であるにもかかわらず、「エントリー活動段階」に進んでいる学生が約2割いるのも特徴である。

### 現在の就職活動のステータス

2016年卒学生(2015/2/1):n=637、2016年卒学生(2014/11/1):n=445、2015年卒学生(2013/10/31):n=374



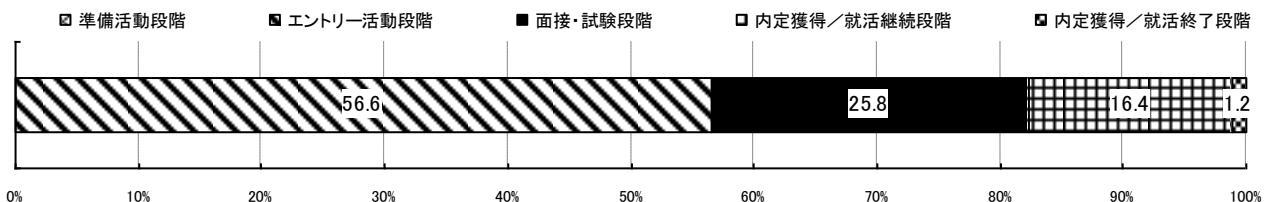
【最も進みが早い企業の状況】「エントリー活動段階」25.8%、「面接・試験段階」16.4%

4割以上の学生が応募・選考に突入

また、「現在行っている主な活動」において、「準備活動段階」「エントリー活動段階」「面接・試験段階」のいずれかを回答をした学生に対し、最も選考が進んでいる企業ではどの段階に進んでいるのか聞くと、「準備活動段階」が56.6%、「エントリー活動段階」が25.8%、「面接・試験段階」が16.4%となり、就職活動を始めた学生の約半数が企業と接触している様子がうかがえる。

### 現在の就職活動のステータス<最も選考が進んでいる企業>

n=574



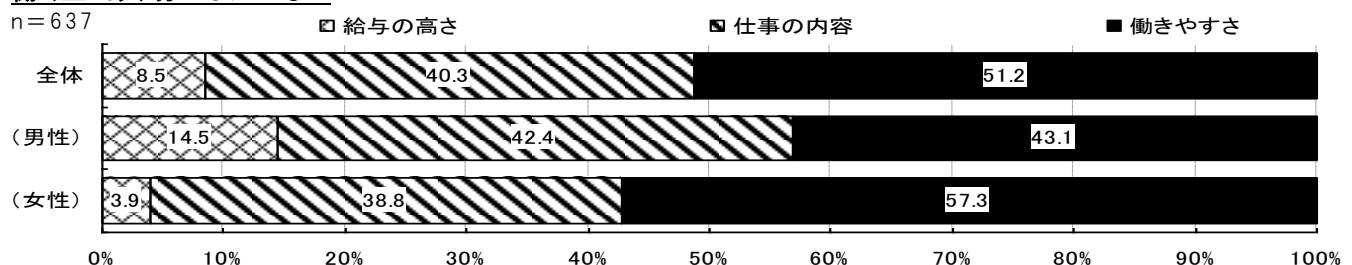
## 《働く上で大切にしたいもの》

働く上で大切なことは「働きやすさ」51.2%、「仕事の内容」40.3%、「給与の高さ」8.5%

女性は「働きやすさ」重視で、男性とは15ポイント近い差も

学生に、「給与の高さ」「仕事の内容」「働きやすさ」の3つのうち、働く上で大切にしたいと思うものを1つ挙げてもらった。結果は、「給与の高さ」8.5%、「仕事の内容」40.3%、「働きやすさ」51.2%となり、働きやすさに重きを置きたいと考えている学生が半数に上る。男女別に見ると、女性は、男性に比べて「働きやすさ」を回答した者の割合が57.3%と高く、男性と15ポイント近い差が生じている。一方、男性は、「仕事の内容」を挙げた者の割合が42.4%となり、「働きやすさ」43.1%と拮抗している。「給与の高さ」は14.5%に留まっているが、女性と比べると10ポイント以上高い。

### 働く上で大切にしたいもの



## 《企業選定の際に重視するもの》

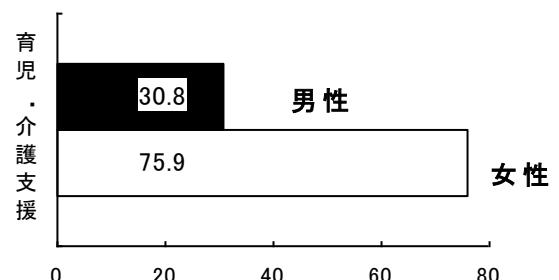
企業選定時の重視項目は「会社・社員の雰囲気」「事業内容」「職種」「業界」「企業の安定性」

女性は、「育児・介護支援」を非常に重視する傾向

学生に、志望企業を選定する際に、項目別にどの程度重視するかを聞いた。重視派（「重視している」+「どちらかと言えば重視している」）の合計が多かったのは、順に「会社・社員の雰囲気」「事業内容」「職種」「業界」「企業の安定性」だった。男女別で見ると、「育児・介護支援」では、女性の重視派の割合は男性を2倍以上上回り、女性がこれらをいかに重視しているかがうかがえる。

### 企業選定の際に重視するもの＜男女別＞

「育児・介護支援」の項目 n=637



## 《インターンシップ》

インターンシップの実施日数は46.7%が3日以内

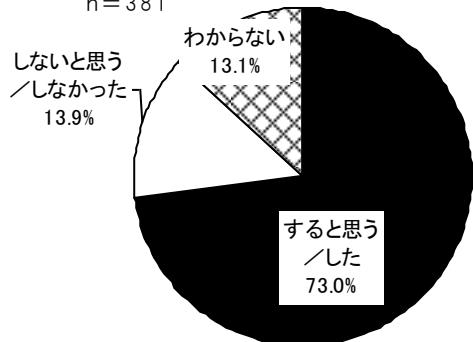
インターンシップ参加企業の採用選考にエントリー・応募をする「する」学生は73.0%

インターンシップ終了後に、企業からの接触が「あった」学生は68.2%

2月1日までに行った就職活動の準備・対策として「インターンシップ」と回答した学生に対し、参加したインターンシップのプログラム日数を聞くと「1日」が29.4%、「2~3日」が17.3%で3日以内のプログラムが合わせて46.7%となった。また、インターンシップに参加した企業の採用選考にエントリー・応募するか聞いた。「すると思う／した」学生が73.0%に上り、約4分の3が採用選考への参加に意欲を見せている。また、インターンシップ終了後に、参加企業から選考やイベントの案内があったかを聞くと、68.2%の学生が「あった」と回答した。

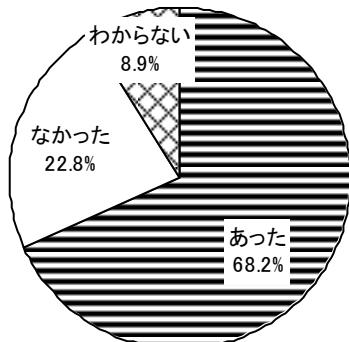
### インターンシップに参加した企業の採用選考にエントリー・応募するか

n=381



### インターンシップ終了後の企業からの接触

n=381



## 調査結果の全体

### ■進捗状況

現在のステータス	【主な活動】「準備活動段階」62.5% 「エントリー活動段階」21.4% 2015卒学生の採用広報活動解禁1ヶ月前よりも準備が早い傾向 【最も進みが早い企業の状況】「エントリー活動段階」25.8%、「面接・試験段階」16.4% 4割以上の学生が応募・選考活動に突入
行った準備・対策	「就活ナビサイトへの登録」90.3% 「キャリアセンターの就職ガイダンスへの参加」65.0% 「インターンシップ」65.0% 「自己分析」63.3% 2015卒学生の採用広報活動解禁1ヶ月前と比べると、「インターンシップ」の割合は約3倍
準備・対策を開始した時期	「就活ナビサイトへの登録」は「6月」が最多 「キャリアセンターの就職ガイダンス」は「10月」に参加した学生が多い 「インターンシップ」参加者は、「8月」「9月」で約5割 その他多くの対策は、「12月」前後に始めた学生が多い
インターンシップ	参加した企業数「1社」31.8% 「2~3社」38.6% プログラム日数「1日」29.4% 「4~5日」27.8% 参加目的は「職業体験・社会人の雰囲気を知る」「企業・業界研究」 内容は「参加企業の会社概要」「業界の説明」「企業・業界関連のグループワーク」 インターンシップ終了後に、企業からの接触が「あった」学生は、68.2% インターンシップ参加企業の採用選考にエントリー・応募を「する」学生は、73.0%

### ■企業選定の志向

企業規模に対する志向	「大企業志向」53.4% 「中小企業志向」22.9% 「こだわりなし」23.7%
企業選定時の重視項目	「会社・社員の雰囲気」「事業内容」「職種」「業界」「企業の安定性」の順 女性は、「育児・介護支援」を非常に重視する傾向
志望業界	男性は「メーカー」「商社」「ソフトウェア・通信」 女性は「メーカー」「サービス」「商社」
志望職種	男女ともに上位は「事務・管理系」「企画系」「営業系」

### ■学生の意識

身につけている社会人基礎力	「傾聴力」「主体性」「規律性」
企業に評価される自信があるもの	「人柄・性格」「学生時代のサークル・部活動」「身だしなみ・立居振る舞い」
働く上で大切にしたいもの	「給与」<「仕事の内容」<「働きやすさ」
就職活動の不安	「内定が取れないかも」「自分の何を評価されるのか」「どのような準備・対策をすればいいか」
相談相手	「友人」72.8% 「父親・母親」46.0% 「先輩」43.6%

本ニュースリリースは調査の一部を抜粋しています。調査全文は下記よりダウンロードいただけます。

<http://apj.aidem.co.jp/enquete/>

#### ＜株式会社アイデム 会社概要＞

【求人媒体事業】相互マッチング型就職活動サイト「JOBRASS 新卒」・求人サイト「イーアイデム」運営  
新聞折込求人紙「しごと情報アイデム」(関東圏・静岡県・関西圏・岡山県・福岡県)、求人フリーペーパー「ジョブアイデム」企画・発行  
【人材紹介事業】「Aidem Smart Agent」(新卒・転職)  
【アイデム 人と仕事研究所】人材育成:各種セミナー、ビジネスマナー、講師派遣(オリジナル研修)、新入社員育成プログラム  
調査・情報サービス:会員制ホームページの運営、オリジナル調査資料の定期発行、人事・労務管理情報紙の編集・発行

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-10 電話/03-5269-8711(代) <http://www.aidem.co.jp>